

平成30年度 第17回益田市子ども・子育て会議議事録

日 時：平成30年11月19日（月）午後9時30分～11時30分

場 所：益田市保健センター 3階 大ホール

出席者：

（委員） 田中会長、石橋副会長、永見委員、小笠原委員、湓田委員、
豊田委員、高島委員

（事務局） 福祉環境部	斎藤推進監
子ども福祉課	尾土井課長、石田補佐、村上係長、都野守主任主事
子ども家庭支援課	山下課長補佐
子育て支援センター	斎藤所長、内田主幹
教育部	武内部長
学校教育課	石橋課長
福祉環境部美都分室	中島室長
福祉環境部匹見分室	藤本室長
（オブザーバー） 株式会社ぎょうせい中国支社	池田専門員

<次第>

1. 開会

2. 挨拶

3. 報告事項

（1）平成29年度の施策体系に基づく主要事業の評価結果について

「【資料1-②】平成29年度の施設体系に基づく主要事業の評価結果一覧」の訂正

3. 議事

（1）第2期子ども・子育て支援事業計画の策定について【資料2-1～資料2-6】

4. その他

（1）次回の会議開催について

■挨拶

○斎藤推進監

皆様おはようございます。前回は10/15に開催し、1カ月の間に再び召集させていただきました。本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。ニーズ調査につきましては皆様からご意見を伺ってよいものにしていかないとならないということで、今回の議題にもあります、ニーズ調査票をメインテーマにさせていただきたいと思っております。アンケートについては、皆様にやってみようと思えるもの、また内容が計画にしっかり反映させることができるものであること、といった意味で本日様々なご意見をいただけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

■委員、事務局紹介

・欠席委員

・山下委員、山本委員、寺戸委員、浅井委員

○石田課長補佐

今回実施しております、第2期子ども・子育て支援事業計画の策定に係りまして、株式会社ぎょうせい様のお力をお借りしております。今回の会議におきましてはアドバイザーとして、株式会社ぎょうせい中国支社の池田さまにご出席いただいておりますので、ご紹介いたします。

○池田専門員

おはようございます。ご紹介いただきました(株)ぎょうせい中国支社の池田と申します。私たちはプロジェクトチームをつくり、益田市様のお手伝いをさせていただきます。本日から参加させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○石田課長補佐

以降の議事につきましては会議規則第 5 条第 1 項の規定によりまして、会長に議事の進行をお願いしたいと思います。会長お願いします。

○田中会長

おはようございます。先般の新聞記事について島根県の推計人口の記載があり、68 万人を割ってしまったとのことで、益田市においてもかなり減少している状況であるという内容でした。さらには少子化もすすみ、出生数が 5 千人を割ってしまい、かなり厳しい状況です。そういった意味では、第 2 期子ども・子育て支援事業計画はとても大切な位置づけになるかと思っておりますので、内容の充実に向けて、お力添えをいただきながら、よいものにしていけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、ニーズ調査の最終協議ということで、内容もたくさんあると思っております。早速ですが、会議の次第に沿って進めていきます。報告事項 1 点、議題が 1 点となっております。担当課お願いします。

■報告事項 (1) 平成 29 年度の施策体系に基づく主要事業の評価結果について

「【資料 1-②】平成 29 年度の施策体系に基づく主要事業の評価結果一覧」の訂正

○石田課長補佐

【資料 1-②】基本目標「1 地域における子育て支援への支援：①多様な子育て支援サービス環境の整備」の評価訂正の説明。

修正前→B 評価：2、C 評価：3

修正後→B 評価：4、C 評価：1

○田中会長

ありがとうございました。みなさまからご意見はありますでしょうか。それでは議題に入りたいと思っております。それでは担当課お願いします。

■議事 (1) 第 2 期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査票について

○都野守主任主事

【資料 2-3】の説明。

また、アンケートの回答率を上げるため、アンケートの表紙の部分にこれまで市が改善してきた事業や、課題のある事業について記載したらどうかのご意見もありました。このことにつきましては、ニーズ調査の集計、分析のご協力をいただいている(株)ぎょうせいの池田様よりご説明いただきたいと思います。

○池田専門員

このご意見につきまして、アンケート調査については、いかに中立性をもってご回答いただくかということが大事だといわれております。そのため、うまくいっている事業や課題がある事業を 1 番最初に持ってくると回答される方に先入観を持たせてしまい、その結果が集計された場合、誤差として出てくる可能性が出てきます。そのため、一番表紙のご挨拶文につきましては、できるだけシンプルなかたちで留めさせていただきたいと思っております。

○石田課長補佐

【資料 2-4】【資料 2-5】【資料 2-6】の説明。

最終的な調査票の用紙の枚数の予定としては就学前児童用 24 ページ 12 枚、小学生用は 13 ページ 7 枚という数になっております。職員がアンケートを実際に回答してみたところ、大体就学前児童用で 30 分程度、小学生用は 20 分程度の時間を要するところでありました。調査票の空き部分についてはイラスト等を入れておきたいと考えております。調査票の表紙について活字が多いと思われるので、本日配らせていただきましたイラスト入りの表紙にして、アンケートに回答しようかなと思えるようなものにできればと思います。

本日欠席している山下委員から、事前にご意見等をいただきましたので、その部分について説明させていただけたらと思います。

【資料 2-7】の説明。

○田中会長

ありがとうございます。膨大な量の説明でした。

まず、「前回の意見をいただき修正した箇所、山下委員からご意見いただいた箇所」がありましたので、そこから委員の皆様にご意見をいただくという形にしようと思います。そしてまた「調査票の記述の部分、益田市独自の内容の部分」も皆様のご意見をいただくということ、最後に「表紙につけるお願い文の箇所」、に分けながらご意見をいただいて進めていけたらと思います。よろしいでしょうか。

まず一番最初に「前回の意見をいただき修正した箇所、山下委員からご意見いただいた箇所」を含めてご意見ご質問等ありましたら、承りたいと思いますが、いかがでしょうか。

○永見委員

（【資料 2-7】③について）“子ども・子育て支援の理念に逆行した表現”とありますが、では子ども・子育て支援は家庭で子どもを育てる親の支援はないのでしょうか。もう少し家庭で子どもを育てたいという気持ちはあると思います。国の政策では家庭保育よりも待機児童を減らすために保育所等施設での保育を進める政策をとっており、子どもたちの利益が守られているかどうか疑問であり、納得いかない。家庭保育も含めて子育て支援ではないかと思えます。

○田中会長

確かにいろんな子育てをしている方がいらっしゃる中で、それらを網羅した形になるようにという山下委員のご意見だったかと理解しております。このままの形で進めるのは少し気になるというところだと思います。

○永見委員

前回のときに申しあげたのは、この設問の選択肢は家庭保育に否定的な選択肢が多く、子どもを自分の家で育てたいという選択肢があれば、その他の欄に書く手間が省けると思い、提案をさせていただきました。ただ、私が主張することを必ず通してほしいということではないので、皆様に変更前の選択肢でよいというのであれば、そうしますのでどうぞ遠慮なくお願いします。

○田中会長

いかがでしょうか。私共に永見委員の思いは重々伝わっており、理解しております。

先ほど申しましたように、色んな立場の子育て世帯があります。その辺りを踏まえて回答していただくには、この選択肢がない方がいいのかと私は個人的に思いますが、皆様いかがでしょうか。

○豊田委員

私はあってもいいと思います。

○田中会長

このままでということですか。

○豊田委員

はい。

この、子ども・子育て支援の理念という考え方というのはどうなのでしょう。どう解釈してよいのか。家庭で保育するのも子育てですよね。その理念の中には家庭で子どもを見ることも入っていると思います。そうしたら、理念に逆行していないと思うのですが。

○田中会長

高島委員はいかがでしょうか。

○高島委員

難しいですね。

○小笠原委員

保護者としては多くの選択肢はあってもいいと思いますので、表現方法を変えてみたらどうでしょうか。例えば、“子どもが一定の年齢までは他の人に任せたくなかったから”など表現方法を変えれば、その他の選択肢を選んだ方が、子どもを自分の手で育ててなかったと読み取れないようにとの山下委員のご意見だと思いますので、表現方法を変えることで選択肢を残す方法もあると思います。

○田中会長

小笠原委員から表現方法を変えた選択肢にしたらどうかとの意見がありました。いかがでしょうか。

○永見委員

今回の小笠原委員の意見に合わせてですが、もう一つの案として、“もう少し子どもに関わりたかったから”というような表現に変えれば抵抗は少ないでしょうか。

○田中会長

この設問は任意の設問ですか？

○石田課長補佐

任意項目です。

○湓田委員

今の時代、子どもが生まれて保育所や幼稚園にも預けない家庭は少ないと思います。私の娘も嫁の産休が終わってすぐに保育所へ入所させましたので、生後3～4カ月で保育所へ入れました。入所せざるを得ない状況だったので、しょうがないなと思いました。でも、近所の方は昔の考え方があって、“かわいそうに”“もうすこし見てあげればいいのに”とか言われましたが、上の娘も小学5年生になりました。保育所に預けないとどうにもならない時代なので、この選択肢はなくてもいいのかなと私は思います。表現方法を変えるのは難しいかもしれませんが、表現方法について検討していただけたらと思います。以上です。

○田中会長

表現方法ということで、記載のことも考えると難しくなってくると思いますが。

○石橋副会長

皆さんが選択肢に視点がいつているので、少し視点を変えてみるのですが、設問の時点で希望より遅く復帰した方とところに問題があると思います。希望通りに復帰した方は選択肢が反対（否定的）に見えないと思います。希望より早く復帰した人は1年取りたかったのに6ヶ月しか取れなかったという考えになると思うので、希望どおり取れた方等の書き方にしてみたらと思いますが、質問の意図が変わってしまうのでしょうか。「希望より遅く復帰した方」ではなく、

「希望通り遅く復帰した方」という書き方で、設問自体を変えてしまえばよいのではないかと思います。

○高島委員

保護者達はニーズ調査等は何回か書かれている人たちが多く、会議では色々話し合っただけで保護者に誤解のない設問になるようにと考えますが、保護者が本気で回答できるのは何ページくらいかなど溢田委員と話しておりました。永見委員が言われるように子どもの最大の利益や保護者のことを考えたりしますが、溢田委員が言われるように保育所等に預けないとならない時代で、ほとんどの方が共働きなので、ましてやひとり親家庭がある中で、否が応でも預けている状況だと思えます。なのでこの選択肢をいっそなくしてしまえば、きれいなかたちでできるのではないかと思います。保護者はニーズ調査などに色々答えておられて、周りの保護者からは「また書かないといけないの?」という声をよく聞きます。どこまで保護者達が言葉一句一句を気にされるかどうか、気にされる方も確かにおられますが、大半の方は提出しないと聞けないので回答しよう、という思いで書かれていると思います。この選択肢をなくしてきれいな設問になるなら、私はなくしてしまってもいいのかなと思っています。

○田中会長

ありがとうございます。意見が分かれている状況ですが、事務局は何かご意見はありませんでしょうか。

○石田課長補佐

個人的にはなりますが、この設問は「希望より早く復帰した方」「希望より遅く復帰した方」の希望をとらえる設問となっていると思いますので、その他の選択肢もありますし、なるべく選択肢を少なくしたいという思いもありますので、なくしてもいいかなと思っています。

○永見委員

分かりました。元々は⑥の選択肢はニーズ調査案にはないものなんですよ。ただ、その他のところを書くのが面倒なので、簡単に○できるようにという意味で提案したのですが、大方の意見がそうなのであれば、豊田委員も同意であれば削除で構わないと思います。ただ申し上げたいのは、ほとんどの人は働かないといけない実情は理解しておりますが、あえて申し上げたいのが休職して収入が少ない中、働くのを我慢して家庭での子育てをしている方もいらっしゃることもご理解していただけたらと思います。

○田中会長

ありがとうございます。それでは皆様から色々なご意見をいただきましたが、この設問に関しては⑥の選択肢をなくすというかたちでよろしいでしょうか。ではそういうかたちに変更したいと思います。よろしく願います。その他調査内容について修正、追加等踏まえて、ご意見等ありましたらお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

○小笠原委員

山下委員の意見の⑤(資料2-7)のところ、アンケートに対するやる気を感化させるために、かかる時間を知らせた方がよい、前回の調査やその後のことも載せた方がよいなどの意見はとてもいいと思います。別紙の資料や表紙のイラストも良いと思いますが、ご協力についてのお願い文の裏面の箇所ですが、上の文章(第1期成果、第2期に向けた課題)は保護者の立場だったら読まないかなと思います。山下委員の意見⑤にあたるころだと思えますが、なるべく字は少なく、イラストを入れる工夫が必要かなと、事務局の負担が増えるかもしれませんが、あるといいのかなと思います。

○田中会長

ありがとうございます。ご意見いただきましたが、山下委員の意見の中の第1期の成果の部分、ご協力についてのお願いの裏面の部分が大いのご意見でしたが、これは先ほどにもありました、先入観が入ってしまうのでは、ということになると思いますがいかがでしょうか。文章としてはこの文章を記載するというのでしょうか。

○石田課長補佐

一応文章は一例として載せましたが、これを載せる、載せないという部分については先入観もあってはいけないというところであれば、削除をしてもっと簡単にすべきではないか、という風に思っておりますので、この部分についてもご審議いただけたらと思います。

○豊田委員

確かに言われる通り、これだけでは読んでもらえないと思います。もっとわかりやすいフローチャートみたいなイラストを使ったり工夫をされた方が良いと思います。そういうところで、少し検討してみてください。

○田中会長

成果のところもですか。

○豊田委員

分かりやすくフローチャートみたいな流れでできないでしょうか。

○田中会長

もっと分かりやすく、ということですね。あった方がいいけど見やすくしてほしいということですね。この内容をこのかたちにできますか。

○石田課長補佐

具体的に事務局側からではイメージが分からないので、どういったものを載せるべきかアドバイスいただけたら非常に載せやすいのですが。例えば、PDCA サイクルの図を載せたらいいとかそういうのであれば載せられるのですが、その計画の成果をイメージ的に出すのは非常に難しいところがあるので、こういった文章しか出せないというところなのですが、そこにアドバイスをいただけたらと思うのですが。

○石橋副会長

第1期の事業計画で変わったこととか何個かあると思います。前回のニーズ調査をして、実際に行われた事業を載せるのはどうですか。今回のアンケートにもご協力くださったら新たに事業・サービスが増えるかもしれません、など子育て支援事業がいい方向に向けていくために動機づけができれば、逆に第2期の事業計画の策定は必要ないと思います。ニーズ調査ができてからの話になるので、計画策定のためお願いします、というより“前回アンケートに協力していただいたのでこれだけの事業・サービスができました。今回もぜひ協力してください”という風に豊田委員も言われたような、簡単でぱっと見て視覚でわかるようにしたらよいと思います。

○田中会長

ありがとうございます。あってもよいが、内容を絞って記載、ということでしょうか。

○豊田委員

全部ではなく、ポイントだけ載せたらよいと思います。

○田中会長

できそうでしょうか。

○石田課長補佐

はい、頑張ります。まだイメージはわかりませんが、これまでの事業的なものとその評価とこれまでの評価と比較したものを端的にわかるような形で載せようと思います。

○田中会長

文書としてはA4の表裏という形で、2番目のところを第1期の課題と成果をもう少し分かりやすく、とらえられるようにしていただく、ということよろしいですか。

もう時間がないので、修正案は私たちにを見せていただくことはできないですね。では、事務局に任せて作成していただくことになると思いますし、このお願い文について、もし何かあればお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

○石田課長補佐

具体的に、5年前の第1期事業計画の調査から今のところで実施できた事業等を、“今までできていなかったものが事業を実施しました”という形で表現できればいいかなと思いますがいかがですか。

○田中課長補佐

そういった形でよろしいですね。

○委員一同

はい。

○田中会長

ではそういった形でお願いしたいと思います。内容は、市長あいさつ、第1期の事業成果、アンケート調査の所要時間、説明、お願い文で、後は事務局へお任せするというところでよろしいですね。その他のみなさんアンケートの中身について気になるところありましたら。

○永見委員

(就学前児童用) 問15-2についてですが、選択数が3つまでとありますが、設問を見てもっとたくさん選びたいのですが、3つじゃないとダメでしょうか。3つとされたのは把握しやすくしたいからということで、希望の強いものから選択したらよいということなのでしょう。

もう1つ、問14-2の問の中には□内に数字で記入ください、とありますが、回答欄には()になっており、問と回答があっていないようです。

○田中会長

今、2点ご意見をいただきましたが、問15-2、問14-2のところですが、事務局いかがですか。

○永見委員

先に提案しますが、重要と思うものに◎にして、それ以外を○にするとか、無理ですか？

○石田課長補佐

問14-2については、記載が間違っておりましたので、修正をいたします。問15-2のところですが、国の基本項目になっております。重要なものを3つというところで整理していただけたらと思いますので、記載はこのままでお願いできればと思います。

○田中会長

永見委員、よろしいでしょうか。

○永見委員

国の決まりなのでですね。

○田中会長

重要なところを◎という気持ちはわかるのですが、そうするとかえって回答も難しくなってしまいうこともあるかと思います。そういった形でよろしいでしょうか。

○永見委員

はい。

○田中委員

では、そのほかありませんでしょうか。

○高島委員

資料 2-5 の児童クラブのところですが、児童館等というのは児童館をお借りするクラブがあるので、そのまま良いのですが、その次の専任指導員とありますが、たしかに児童健全育成推進財団の時は、児童厚生員という形で指導員の免許を取得した方はいますが、現在、支援員認定資格研修を受講して、支援員という資格を取っている中で、私たちは指導ではなく、支援を行っているところだと思いますので、ここは指導員ではなく、支援員に変えてもらうことはできるのでしょうか。変えていただくことが出来るのであればお願いします。

○石田課長補佐

支援員に修正させていただきます。

○田中会長

お願いします。それでは他にはございませんでしょうか。

○尾土井課長

資料 2-3 のところで、前回の修正、追加項目等ご紹介しました中で、③について、就学前児童用の P13、問 22、23 のところの児童館関係についてですが、選択肢の中で「※平成 31 年 4 月から無くなります」とありますが、既にご案内しておりますように、平成 30 年度末を持ちまして、児童館の利用は終了ということで調整しておりますが、最終的な決定は 3 月末の時点になると思います。というところで、「平成 31 年 4 月から無くなります」を「平成 30 年度現在」という表現で修正させていただきたいのですが、いかがでしょうか。

○田中会長

平成 31 年 4 月を平成 30 年ですか。

○尾土井課長

「平成 30 年度現在」です。

○豊田委員

「平成 30 年度現在」という表現はないのでは。

○尾土井課長

「平成 30 年現在」ですか。

○石橋副会長

廃館が決まっているなら、選択肢に入れる必要性はあるのでしょうか。ないものを入れてもしょうがないのでは。

○石田課長補佐

国の示しているアンケートの中の項目になっており、集計する際に選択肢の番号を変えると集計が手間取るということであえて残して、この表現を追加しているところがあります。

○石橋副会長

残した方がよいのですね。

○石田課長補佐

残した方が集計がしやすいです。

○高島委員

では児童館がなくなりますと明記してはダメなのですか。○月○日等記載せずに、なくなります、だけ記載することはできますか。

○尾土井課長

事務的な話になりますが、児童館の設置に関する条例があります。それをきちんと整理するのが、3月の市議会のところで提案させていただいて、その議決を踏まえた形になりますので、こういったご提案とさせていただきます。アンケートを実施するのが12月となりますので、平成30年現在という記載をさせていただきたいのですが。

○田中会長

標記の仕方を変えて「平成30年現在」という形ですか。皆さんいかかでしょうか。

○石橋副会長

これは行政側としては議会を通っていないので、平成31年4月からというのを入れたくない、ということですよ。この平成30年度は入れた方がいいのですか。逆に何も入れない方がいいと思うのですが。あえて注意書きを入れなくてもいいように思います。

○豊田委員

入れない方がいいと思います。

○田中会長

入れないという形というのはどうですか。

○尾土井課長

それでは※（注意書き）のところは控えさせていただき、何も入れずに児童館のまま、記載させていただくということではいかがでしょうか。

○田中会長

皆さん、よろしいですか。それではお願いします。その他、ありませんでしょうか。

もしなければ、全体のところはどうでしょうか。後半の部分で、益田市独自という形で記述の質問事項があります。それにつきまして、山下委員からもご意見を事前に頂いており、資料2-7④のところになります。問41、問43の記載につきまして、30分かかる調査票でさらに最後に記述があるのはかなりの負担ではないだろうかというご意見をいただいております。この質問事項についてある方がよいのか、ない方がよいのか、皆さんのご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

永見委員から第1期のニーズ調査がどういったもので、保護者の声が聞きたいということで加えられたという経緯を私も把握させていただきました。長い調査票の回答の中で最後にこの4項目となりますが。

○永見委員

前回の回答はどうだったのでしょうか。

○田中会長

前回の回答については計画書の中にありましたよね。何項目か計画のところで回答いただいた分を皆さんにお示しする形で、載せておりますよね。

○石田課長補佐

10項目ぐらいに意見をいただきましたので、そのまま載せております。

○田中会長

記載された方はかなり多かったのですか。似通った内容でしたか。

○石田課長補佐

全部を把握しているわけではないです。いろんなご意見をいただいております。

○田中会長

委員のみなさんいかがでしょうか。永見委員、いかがですか。やはり残した方がよいですか。

○永見委員

皆さんが、なしでもよいというのであれば（なしで）よいです。

○石橋副会長

これは設問の間に入れることはできないのですか。一番後ろにまとめるのではなく、どこかに分散して入れることはできませんか。関係することろに入れておけば、書きやすくなるのではないかと思います。

○田中会長

石橋副会長から意見がありました、いかがでしょうか。

○溢田委員

前回の会議の中で、「子育ての悩みやつらかったことはありますか」という設問を採用していただき、ありがとうございます。問 31 に似たような設問がありますので、その下にでも自由にお書きください、という形にすれば書きやすいのかなと思います。

○田中会長

そういった形で関連する設問に入れていくという形でできそうでしょうか。

○石田課長補佐

P 23 に記述の設問が 4 つありますが、例えばそれを 1 つの設問にして、例として 4 つの設問をあげ、書きたい意見を選んで、自由記入欄として書く方法もできると思います。なかなか設問の中に入れ込むのは難しいかと思いますが、こういった方法ではいかがでしょうか。

○田中会長

溢田委員が仰った問 42 に関しては問 31 のところに入れることはできそうですね。問 42 を削除する方向でいかがでしょうか。

○溢田委員

はい、いいです。

○田中会長

問 31 で聞けそうですね。新たに自由記述を設けるかそれとも、この項目で十分カバーできそうですか。また、事務局からありましたが、自由記述ということで、最後にまとめてしまい、書ける範囲で書いてもらう方法や設問 4 つを関連する設問に入れ込む方法が考えられます。

○高島委員

問 40 の聞き方で問 41、42、43 をまとめてしまうということですよ。たぶんこういう設問になったのは、細かく設問にすることで、書きやすい保護者に書いてもらおうということだと思いますが、調査票の最後の方になってこれらの記述があるのは大変なので、できるのであれば、まとめてするというのが良いのではないかと思います。

○田中会長

豊田委員、いかかですか。

○豊田委員

今言われた通り、書きたい人もおられますので、最後に一つにまとめてされる方が良いと思います。現実的に途中に入れ込むのは難しいでしょう。

○永見委員

問 42 については問 41 とあわせて聞く表現なら良いと思います。

○田中会長

では、最後のところで全体を聞いていく形で皆さんよろしいですね。問 41、42 を合わせて、嬉しかったこと、辛かったこととし、その他設問を合わせた形でよろしいでしょうか。

○石橋副会長

問 31 のその他の選択肢のところは広くすることはできますか。溢田委員が言われたように書くのであれば、書きたい人が書くところなので。

○石田課長補佐

スペースを広げるということですか。

○石橋副会長

そうですね。そうすれば、最後の 3 つの設問を合わせればいいので、負担が減るのではないのでしょうか。独自設問なので集計もどうにかなると思います。

○田中会長

問 42 の自由記述は問 31 に入れる、ということですね。

○石橋副会長

そこになら書けると思います。

○田中会長

問 41 の中で嬉しかったこと、辛かったこと等を聞くということですね。

○石橋副会長

他にもその他という項目はあるので、くっつければ落とし込めるところもあると思います。それで、最後に、その他にありますかと聞くようにすれば、もっと書きたい人は書いてもらえれば、その方が書きやすいかなと思います。

○田中会長

最後に自由記述のところはこういったことは記載せずに…

○石橋副会長

いえ、1 つは残しておかないとほかにも書きたい人もいると思います。

○田中会長

自由意見という形ですか。

○石橋副会長

問 40 の部分になると思います。

○田中会長

そこには 3 つの設問を入れずに自由記載ということですか。

○石橋副会長

他の設問で入れられるところがあれば、1 つずつ設問を確認していく必要があると思います。例えば、子育ての悩みとか入れられるところがあると思います。

○石田課長補佐

先ほどご意見がありました通り、問 42 のところは問 32 のその他の回答欄を広げて書いていただくことにさせていただき、問 41 問 43 のところはアンケートにない部分になるので、そこは自由記述として、たとえば例題のようなものを記載すればいいと思うのですがいかがでしょうか。

○田中会長

入れ込めないところは自由記述で、最後に欄を設けまして、その中でこの 2 つの設問について、例を挙げて、ご意見をたまわる形をとるということですが、いかがでしょうか。

○委員一同

いいです。

○田中会長

ではそういった形でお願いしたいと思います。

○石橋副会長

小学生用も同じですね。

○田中会長

そうです。その他にございませんか。

では、アンケート内容、アンケート前文、アンケートのお願いの文書、これらについて皆様にご協議いただきましたが、これであとは事務局に修正していただくということで、お任せし、11 月末に発送の予定で進めていく形になると思います。このように進めさせていただいてよろしいでしょうか。

○委員一同

承認。

○田中会長

では、ご承認いただいたので、この形で進めていこうと思います。

○田中会長

それでは、その他のところお願いします。

■議事(2) その他

○尾土井課長

子ども福祉課から、2 点ほどご説明させていただきたいと思います。1 点目、平成 31 年度から放課後児童クラブの実施場所についてでございます。益田地区のめだか児童クラブにつきまして、現在定員 40 名で、益田児童館で実施しております。次年度からは定員は同じく 40 名ですが、益田小学校 1 階の活用可能教室に移転することといたしております。2 点目、平成 31 年度からの児童館施設の利活用についてということで、前回、前々回から申しております通り、このことについて報告させていただきます。現在の状況については、児童館の利用状況を踏まえまして、地域の活動を行う場所としての活用ということで関係機関と協議調整を進めているところでございます。今後も引き続いて協議、調整を行っていきたいと思っております。現在はそういった状況でございます。

○田中会長

ありがとうございました。先ほど 2 点ありました。児童クラブ開設場所について、児童館施設の利活用について、ご説明いただきました。これについてご質問はありますか。

○高島委員

高津の児童クラブは来年度 1 年生が多く、児童館のあとに第 1 クラブが入っていると思いますが、保護者からは潰れそうな施設なので、そんなところに子どもを入れさせていいのか、という声が上がっており、保護者会からも益田市へ意見が上がってくると思います。そうすると、待機児童が高津で多く上がってくるのではないかと思います。第 2 クラブが学校にあるので、第 1 クラブも学校に入れることはできないのかという意見が強く出ている状況です。

○田中会長

ありがとうございました。その他何かありましたら、お願いしたいと思います。

○湓田委員

アンケートの間 37 の選択肢にもある親子でも楽しめるイベントの開催に繋がるのですが、先日空港マラソンが開催されました。第 1 回大会から参加しており、今回は参加できませんでした。今回、マラソンのコースが変わってありました。万葉公園スタートで空港の滑走路を走り、万葉公園ゴールでした。残念なことです。子どもたちが滑走路を走れなくなり、子どもたちの声援がなくなってしまいました。子どもの参加自体も少なく感じたという意見もありました。子どもたちの声援にはとてもパワーがもらえます。益田で親子で楽しめるイベントが少なくなることについて、益田市も考えてもらいたいなと思います。コース変更についての事情は聴きませんが、親子で参加できるイベントを増やしてもらえればと思います。

○田中会長

地元を PR する大切なイベントの 1 つだと思います。色々課題はあると思いますが、湓田委員の意見をぜひとも伝えていただいて、良いイベントになればよいなと思います。

○豊田委員

放課後児童クラブについてですが、今、待機児童はいますか。以前定数の 1.2 倍までは良いと聞きましたが、今はそういうことはしていないのでしょうか。

○村上係長

クラブの待機児童についてですが、今のところ待機児童はいないと思います。来年度につきましては、現在、入会希望調査をしております。希望調査に対して希望しますという回答と定員を比較すると待機児童がでそうなクラブはでております。そして、定員に対して、1.2 倍ということについては、初めて聞きまして、面積 1.65 m²が 1 人分の面積ということで…

○豊田委員

1.2 倍ということではなかったのでしょうか。

○村上係長

すみません、それについては…

○豊田委員

いえ、以前に聞いたことがあったので、最近は違うのかもしれませんが。また調べてみてください。

○村上係長

はい、わかりました。

○田中会長

その他何かありますでしょうか。

○永見委員

私的な意見ですが、事務局がこれらの意見をまとめることや保育所、幼稚園の事務について時間を割いてくださることに感謝をしています。

○高島委員

保育士が不足していると聞くが、保育士になっても人間関係を理由に辞めてしまう人がおり、そういった相談の受け付けは行政機関はあると思いますが、それ以外でできないというのが残念だと思います。人間関係は大きな問題ではありますが、手立てがなく、人材不足になるのかと。

○田中会長

では、長時間にわたり、ありがとうございました。前回の回答率を上回るように良いものになるようにお力添えをいただけたらと思います。本日はありがとうございました。では事務局にお返しします。

○石田課長補佐

長時間にわたりありがとうございました。調査票についてはしっかり修正して皆様に書いていただけるような内容にしたいと思います。結果については次回の会議の中で報告いたします。次回の会議につきましては2月末から3月の頭頃を予定しておりますので、近くになりましたら、ご案内をさせていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。本日は田中会長様進行ありがとうございました。以上をもちまして、子ども・子育て会議を終了させていただきます。